



横浜市立釜利谷東小学校

10月号

# 学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817

平成30年9月28日

ひかしの願い

ひとつの命  
がんばる心  
しんじあう仲間

## 体験すること・本物にふれることを大切にしたい

校長 許斐 真也

22日の土曜日、赤井町内会の防災訓練に参加させていただきました。主な内容は、「放水訓練」「起震車体験」「AED訓練」でした。起震車は横浜市でも4台しかなく、この日しか来られないということを知り、体験させていただきました。関東大震災と同じくらいだという強さで、足元が揺れます。消防署の方の説明では、時間にして109秒間でした。どうだったかと言うと…、本当に立っていることさえできず、床に這いつくばっているだけでした。あの揺れの中、台所に行き、コンロの火を消しに行くなんてとんでもない、絶対に無理だと思いました。(関東大震災はお昼時の11時58分に発生しました。火災の被害が甚大であったことはご存じの方も多いと思います)

「震度7でこれから揺れる」と分かっているにもかかわらず、発生当時、その場にいた人々はどれだけ驚いたことでしょうか。また、恐ろしかったことでしょうか。「備えあれば憂いなし」とはいうものの、経験したことがなければ(体験したことがあっても)冷静になって対応することはとても難しいことだと思いました。ましてや、多くのことを、体験を伴うことで理解し、知恵として身につけていく子どもならばなおさらです。しかし、あの場で起震車体験をした子どもたちは、その恐ろしさを身をもって体験することができました。

情報社会において、子どもたちのインターネットなどを通じた擬似的な体験が増え、人やもの、自然などに直接触れる体験活動の機会が減少している傾向にあります。このような時代であるからこそ、身近な人・もの・こととの直接的なかわりの中で、身体感覚を伴う多種多様な体験活動の場を設定したり、できるだけ本物に近い形での学習を実施したりしていくことは子どもの成長・発達において、欠かすことができません。それが、実社会への興味や関心を広げるきっかけともなります。本校でも、校外学習で実際の現場を見学したり、学習にその道の専門家などのゲストティーチャーをお招きしたりして、学習をより充実したものにしようと工夫しています。

今月は4年と5年で宿泊体験学習を実施します。4年生は野島で、5年生は三浦で、自然の中で多様な学習に取り組み、学年の仲間と2日間寝食を共にすることで、様々なことを考え、学ぶことができると思います。普段のように登校から下校までの時間だけを一緒に過ごすのとは違い、まさに主体的に、協働的に活動することが求められます。そのような姿が見られることを楽しみにしています。